

京都府インテリア設計士協会  
KIS企画

### 犬島見学会におもう

犬島は岡山宝伝港から船で10分ほどに位置する瀬戸内海の小さな島である。人口はわずか40名ほどという。かつては大阪城築城の際にこの島の石垣が多く使われたそうである。約100年前には銅の精錬所が建設され栄えたが、たった10年でその操業を終え閉鎖されたまま放置された経緯がある。

建築家・三井一博志はその近代化遺産をみごとに再生させ「犬島精錬所美術館」として蘇らせた。三井一は環境を丁寧に読み解き、自然のメカニズムを建築に対してダイレクトにかつ繊細に組み込むことができる稀有な建築家である。室内環境を機械によって完璧にコントロールされた現代人にとって、彼の建築は長らく続いたモダニズム建築から脱却する起爆剤になるに違いない。かつては有害な煙を出していた煙突は館内の空気環境をパッシブに制御する環境装置として機能している。内部



空間は柳幸典による現代アートが融合し、現代に対する強いアンチテーゼを表現しているように感じた。柳もまた現状を打破しようとしてもがいている一人だ。



その後、長谷川裕子のディレクションによる建築家・妹島和世の「家プロジェクト」を数軒見学した。現代アーティストとのコラボレーションは犬島の風景にとけ込み、かつての良き日本の環境をみごとに対比して見せている。犬島全体を通して、福武総一郎が考える「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトが実践されていた。経済至上主義にどっぷりつかった我々にとって犬島プロジェクトは持続可能な循環社会を取り戻すきっかけとなるかもしれない。

くしくも見学会は3月11日。東日本大震災から6年を経過した日であった。もう一度立ち止まって、これからの社会について考える機会を得た大変有意義な見学会であった。(記・加藤 信喜)



### SJIT 総会 鳥取で開催「足田体制」を継続



本部SJIT日本インテリア設計士協会の第51期通常総会は5月13日(土)、倉吉シティホテルで開催された。参加者は例年同様の60人で、定刻通り午後4時にスタートした。

最初に昨年度亡くなられた理事役員ならびに協会の先駆者の御霊に黙祷を捧げた後、議案審議に入った。

1号議案の28年度の事業報告並びに2号議案の決算報告・監査報告が満場一致で承認され、3号議案の役員改選の経緯については、奥田専務理事から詳細な説明があり、足田会長の続投をはじめ役員人事が決定した。

大阪からは足田顧問(本部長)のほか、河野会長が副会長に、小長谷監事が理事に、岡崎専務理事が奥田顧問の後任として専務理事となった。

本日も赤字決算で反省点は残ったが、全国支部による「インテリア講座」や「デザインコンペ」の実施、「SJIT通信」の発行など来期に希望を与える一年であったと報告があった。



交流会での余興

総会はその後、平成29年度の事業計画案、収支予算案も承認され、来年度は神奈川支部での総会開催が決定した。総会後は鳥取県庁職員の林拓磨氏による「リノベーションまちづくりの実践」と題し

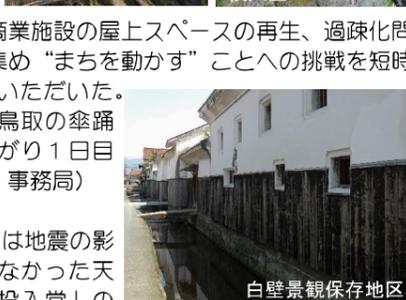
た講演が行われ、駅前商業施設の屋上スペースの再生、過疎化問題への取り組み、人を集め「まちを動かす」ことへの挑戦を短時間のなかで熱く語っていただいた。

その後の懇親会では鳥取の傘踊りや支部紹介で盛り上がり1日目は終了した。(記・事務局)

2日目、見学のメインは地震の影響でしばらく入山できなかった天台宗三徳山三佛寺の「投入堂」の参詣で、ご住職が日本一危険な国宝と言われるとおり、急峻な修験道を十二分に味わうこととなった。

好天に恵まれ清々しい気分になったが、その一方で参加者の体力差や行程の険しさのため予定時間をかなりオーバーしたようで、気を揉んでおられる倉恒鳥取支部長の心が慮られた。

その後、倉吉という地名どおり立派な倉が建ち並び景観保存地区に入り、大阪とは縁の深い淀屋の見学を皮切りに、風情のある倉の町での散策を楽しんだが、ここでも地震の痕跡が見えとられ、文化財の今後に思いを巡らせた。(記・小長谷 光)



白壁景観保存地区



淀屋

OIS

大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14  
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553

URL <http://jp-interior.or.jp/ois>  
blog <http://oisblog.exblog.jp>  
E-mail [ois@jp-interior.or.jp](mailto:ois@jp-interior.or.jp)

発行者：河野  
編集者：今井・岡崎・小長谷・南野  
(五十音順)

# 個人と組織

One for all, All for one

## No.104

### 新役員名簿

- 会長 河野 洋二 (再任)
- 副会長 南野江以子 (〃)
- 〃 今井 俊夫 (理事から)
- 専務理事 岡崎 正明 (再任)
- 常任理事 田原 妙子 (副会長から)
- 〃 山口 一芽 (再任)
- 〃 吉矢 祥子 (理事から)
- 〃 朝日 勝彦 (〃)
- 会計理事 石渡 由華 (再任)
- 理事 広畑 直子 (常任から)
- 〃 瀬部 明 (〃)
- 〃 山田 弘美 (再任)
- 〃 園田 寛明 (〃)
- 〃 矢野友佳子 (〃)
- 〃 守屋 一之 (〃)
- 〃 来藤 澄江 (新任)
- 監事 小長谷 光 (再任)
- 〃 藤原 長彦 (〃)
- 顧問 高橋 宏至 (〃)
- 〃 平井 進 (〃)
- 〃 植田 益夫 (〃)
- 〃 足田 友一 (〃)
- 〃 宮後 浩 (〃)
- 〃 梅田 澄徳 (〃)
- 〃 奥田 忠彦 (相談役から)
- 参与 渡邊 敏雄 (再任)
- 〃 福田 幸市 (〃)

- 第1事業部 今井副会長  
受験推進・検定講座  
学校訪問・講座
- 第2事業部 南野副会長  
事遊展・手作りサロン・見学  
親睦・かぶだち・青年
- 編集部 河野会長  
葉知利書 (両事業部から選抜)

# HASHIRIGAKI

葉知利書



全国高校ラグビー大会80回記念碑から

### 新年度を迎えて

会長 河野 洋二

暑さが厳しい季節になりました。

2017年は人事改選の年でOISは左表の新体制でスタートします。理事が減ったこともあり、部会の数を4事業部制から3事業部制に変更しました。理事の役割は増えるかもしれませんがそのぶん動きやすくなると思います。

会員一人ひとりインテリア設計士としての自覚を持ち、インテリア設計士を社会に認知してもらうよう努力して受験を増やし、協会活性化のためにみんなで頑張りましょう。

同時に協会運営・催事企画など協力してくれる人を募集しています。興味のある人は事務局までご連絡ください。



賛助・(株)二加屋 杉本社長

### 平成29年度総会報告 & 交流会

平成29年度総会は、4月21日(金)に市立難波市民学習センター第2研修室で実施され、出席者は24人であった(委任状出席39人合計63人)。

28年度の事業報告・決算報告、役員改選、29年度の事業計画案・予算案などを審議し、すべて原案どおりに可決した。

役員改選は2年に一度行われ、事前の理事会で方向づけられた改選案が提示される。原案どおり決定したが、会員数との比率、他支部に移籍による理事の減少も考慮し会則を見直した。

財政的には厳しい状況であるが、「インテリ

ア講座」の復活による受験者数の増加、「忘年会」と「事遊展」のコラボ実施による作品数増・観覧者増と明るい報告もあった。

総会審議後、杉本社長から参加者に向け、財政難から脱却するためのアドバイスと「皆さんの頑張りで会を盛り上げよう」と激励の言葉をいただいた。

会場を移しての交流会は、OIS活性化のための今期にける思いをそれぞれのテーブルで語り、交流会は終始和やかに進行した。

最後は中島社長の「大阪締め」で散会した。(記・事務局)



賛助・アサカ硝子産業(株) 中島社長

～今日の住宅事情「断熱と日射遮蔽」について～



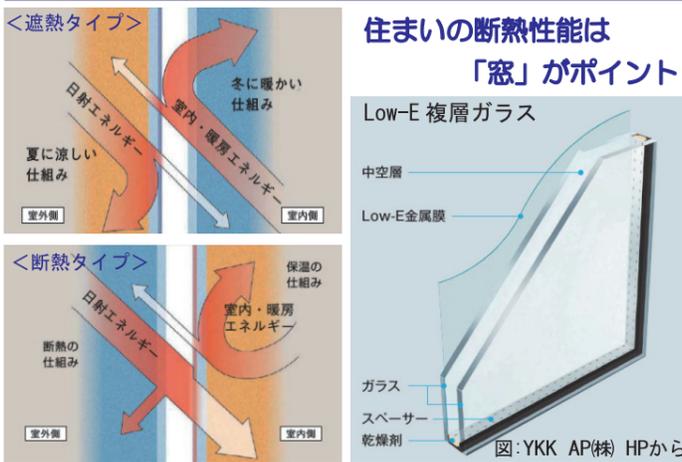
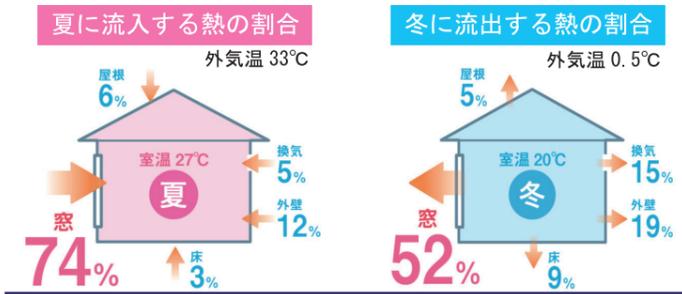
今井 俊夫

私の関わる仕事は、マンションや戸建て住宅のリノベーションが多く、最近では国の補助金の関係もあり、省エネ改修が増えて...

省エネ改修で最も効果が高いのは窓の改修です。一般住宅では、冬は約50%の熱が「窓」から逃げ、夏は約70%の熱が「窓」から侵入している...

Low-E(ロー・イー)とは、Low Emissivity(ロー・エミシビティ)の略で、『低放射』という意味です。Low-E複層ガラスはガラスの表面に金属コーティングした複層ガラスで...

窓改修は意外にも「結露」に対して細心の注意が必要です。窓の気密性、断熱性を上げると、冬場、ガラス一面に水滴がつくこと(=結露)はなくなりますが...



偶数月の19日は みんなで集まって楽しいトークパル

TALK-PAL 2017.2.18 2017年最初のトークパルは19日が日曜日なので、前日の土曜日になりました。

いつものように身近なニュースから始まり、酔っ払った時の失敗談、そして健康に気を付けていることや、病気になったことなど...

特に昨年末から年初めにかけて、会員の方ご本人やご家族の方の訃報が続いており、ご冥福を祈りつつ...

私の心の中にもその時々楽しそうにされた笑顔がよみがえって来ました。本当にこの会の為に尽力下さり、感謝しております。



TALK-PAL 2017.4.19



早いものでトークパルも復活してから10回目を迎えました。今回のパルデビューはご近所の宮後顧問です。

TALK-PAL 2017.6.19



TALK-PAL全回参加です。事務局だから仕方ないだろう、とお思いかもかもしれませんが、そうではなく楽しいから毎回参加しているのです。

書とインテリア

瀬部 明

<下> ~ 書のためのインテリア ~



6月2日から大阪国際会議場で「日本の書展(関西展)」(公益財団法人全国書美術振興会・産経新聞社主催)が開催されました。1,000点を超える作品が広い会場をいくつものブースに分けて展示されていたが...

表装家もおられ、形や材料等おおよそ従来の書道とはそぐわなさそうなものを用いて現代的な書道作品に仕上げることも増えています。

書は空間構成も非常に大事な要素です。それを粹取りする表装は書のためのインテリアとも言えるでしょう。さらにそれを実際の空間でインテリアとして用いる面白さ。

当初の予定ではもっと実例をご紹介するつもりでしたが、私自身がインテリアと書についての実例を持っておらず、この連載を進めるにつれ力不足を痛感いたしました。

参考文献 「書彩」第3号P86~89、1995年5月・芸文社 写真①日本の書展風景(筆者撮影) 写真②③ユニークな表装の実例(「書彩」第3号p71~82、1995年5月、芸文社)



②久保田朴仙「谷川俊太郎詩」<軸装> 930mm x 700mm



③松永光風「寛静」 525mm x 625mm

ちょっとMANA-BOZE 建築・インテリアでの AR・VR 活用法

桑山優樹さんを講師に迎えての「第7回MANA-BOZE」が6月23日、デザインセンターSEMBAで開催されました。

桑山さんは33歳で独立開業されています。「VR」仮想現実の空間を立体的に体感するものですが、私も初めて体験し、まず、その機器の技術力の高さに驚かされました。



筆者と桑山講師



から評されてきました。完成品に対するクレームと併せて計画・設計内容が注文主に上手く理解されずクレームに繋がるケースも多々です。将来的に、これらの問題を未然に防ぐ必需品ではと期待します。

(記・朝日 勝彦)

第57回インテリア設計士資格検定試験速報

今年度の検定試験は7月8・9日に実施され、全国の受験者は前年とほぼ同じ806人。そのうち01Sは新規の受験校もあり、前年比約2倍の55人という結果であった。

◆原稿募集◆ 葉知利書の原稿を募集しています。

- A. 会員の仕事紹介 ①会社名・勤務先②職種・業③経験年数④仕事や内容 ⑤やりがいを感じる事や楽しみ⑥大変だと思うときや失敗談 ⑦今後やってみたいこと⑧なにか一言 B. お気に入りの観光地(旅行記) C. 私の〇〇遺産(お気に入りの建物や場所) A. B. Cのお題の中から選んで事務局にお送りください。 Aはアンケート形式ではなくてもかまいません。 文字数: 400字~600字 写真: 2~3枚 期日: 9月末日(次号掲載期日) 郵送または ois@jp-interior.or.jp までお願いします。